No.462

広報 みぶ

9年 11月

▲噴水前広場では、様々なイベントが行われました（写真はふた子のモンチッチショー）

▲ピエロショーのひとコマ 風船ふくらまし競争

動物バンドの一行が博物館内を練り歩きました

童謡の世界を折り紙で表現した作品が並ぶ「世界のおりがみ展」

夢の国へようこそ

第2回おもちゃフェスティバル

ぬいぐるみとピエロのショー、ちびっ子縁日コーナーなど、たくさんの特別イベントが行われた「第2回おもちゃフェスティバル」

特別に入館無料となった11月2・3日の両日は、「世界のおりがみ展」の期間中とも重なり、おもちゃ博物館は多くの人でにぎわいました。

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-02 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

自治功労者表彰

町発展に寄与された功績をたたえる

永年にわたり本町の町政の発展、防災、文化の向上、福祉の増進等に寄与された方をはじめ、行政、産業、教育などの各方面において多大な功績を残された方々に対し、その功績を讃える自治功労者表彰式が11月4日、壬生中央公民館で行われました。

今年は、34名の方が功労賞を受けられ、清水町長から表彰状と記章並びに記念品が贈られました。

受賞者（写真右から）敬称略

円内
三上義市
平田好雄

小須田今朝吉　荒川　博　荒川ミツ子　小林丈夫
田中好雄　板橋広司　青柳八十子　山崎修一
渡邉長二　鈴木幸八　神　勝子　鈴木多一
塚崎紋一郎　大橋志郎　茂木スミ　清水町長
山川祐一　篠原富太郎　安生佳子　梁島安男
大垣正男　篠原英次　田中シン子　沖　春雄
吉岡　榮　山越克子　石崎　達
関本和夫　加藤フジエ
宇山房子

円内
吉葉秋雄
小嶋昭一

表彰（敬称略）

功労賞

◎町の教育・文化・産業・福祉・防災に関し、特に功労顕著な者
梁島　安男
下稲葉2079番地1

◎8年以上町議会議員の職にあった者
松井　晴夫
壬生乙2546番地1

◎20年以上消防団員の職にあった者
関本　和夫
元町10番14号

吉岡　榮
安塚1964番地1

◎20年以上交通指導員の職にあった者
小林　丈夫
中央町2番37号

◎20年以上文化財保護審議会委員の職にあった者
石崎　達
通町1番32号

◎20年以上保護司の職にあった者
茂木　スミ
中央町3番1号

◎20年以上統計調査員の職にあった者
安生　佳子
安塚2076番地14

◎通算により、町議会議員・統計調査員の職にあった者
沖　春雄
緑町二丁目18番3号

◎通算により、町議会議員・社会教育委員の職にあった者
三上　義市
壬生乙2453番地

◎通算により、農業委員会委員・選挙管理委員会委員・消防団員の職にあった者
鈴木　幸八
福和田1373番地3

◎通算により、農業委員会委員・消防団員の職にあった者
鈴木　多一
福和田1302番地

山崎　修一
福和田910番地3

◎通算により、農業委員会委員・消防団員・統計調査員の職にあった者
篠原　富太郎
壬生丁39番地

◎通算により、企画委員・勤労青少年ホーム運営委員の職にあっ

た者

平田　好雄
おもちゃのまち二丁目9番1号

◎通算により、消防団員・国民年金協力委員の職にあった者

篠原　英次
安塚1965番地

吉葉　秋雄
国谷2006番地

◎通算により、消防団員・保護司の職にあった者

大橋　志郎
福和田1008番地1

◎20年以上町職員として勤務し、成績優れ功労があったと認められる年齢50歳以上の者

青柳　ハナ子
壬生丁26番地1

荒川　博
羽生田655番地6

荒川　ミツ子
上稲葉1790番地

板橋　広司
藤井2854番地2

宇山　房子
宇都宮市東塙田二丁目4番1号

大垣　正男
壬生甲604番地

加藤　フジエ
壬生丁275番地10

小嶋　昭一
上稲葉911番地2

小須田今朝吉
いずみ町6番15号

神　勝子
壬生丁10番地12

田中　シン子
至宝三丁目2番25号

田中　好雄
栃木市惣社町783番地4

塚崎　紋一郎
羽生田801番地

山川　祐一
駅東町10番17号

山越　克子
安塚2067番地7

渡邉　長二
壬生丁117番地11

人権週間　12月4日～10日

お互いの人権を守ろう

12月4日から第49回人権週間が始まります。

「世界人権宣言」は、1948年（昭和23年）12月10日に国連で採択されました。これを記念して国連は、12月10日を『人権デー』と定め、すべての加盟国に対し、人権思想の啓発のための行事を毎年実施するように要請しています。

法務省と全国人権擁護委員連合会では、各関係機関及び団体の協力を得て、『人権デー』を最終日とする1週間を「人権週間」（12月4日～10日）と定め、広く国民に人権デーの意義を訴えるとともに人権意識の普及高揚を図っています。

本年は、12月4日から10日までを「第49回人権週間」と定め、

①子どもの人権を守ろう―「いじめ」しない・させない・見逃さない―

②国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう

③部落差別をなくそう

④女性の地位を高めよう

⑤障害者の完全参加と平等を実現しよう

⑥高齢者の住みやすい社会を築こう

の6項目を強調事項として全国各地で集中的な啓発活動が行われます。

とかく私たちは、自分の権利を主張するあまり、他人の人権への配慮を忘れてしまいがちです。人々が共に幸せに生きて行くためには、自分のことだけでなく、相手に対する思いやり、優しさが大切です。

この人権週間を機に、ともすれば日ごろ見失いがちな人権について、改めて思い起こし、一層"人権を尊重する意識"を高めましょう。

みんなで支えあう世界

人権・同和問題講演会

県では、12月4日から10日までの「人権週間」を『同和対策推進県民運動強調週間』と定め、各種の啓発活動を行います。

その一環として、同和問題について正しい理解と認識を深めていただくため、次のとおり人権・同和問題講演会を開催します。

どうぞ、ふるってご参加ください。

☆日　時　12月4日（木）12：30～16：00

☆会　場　栃木県総合文化センター

☆内　容

◇表彰式
・同和対策推進県民運動「啓発ポスター」入賞者
・同和対策推進県民運動「人権に関する作文」入賞者

◇発表会
・「人権に関する作文」最優秀賞受賞者朗読発表

◇ハンドベル演奏会
・作新学院女子短期大学ハンドベルクワイア

◇講演会
・演　題「あなた自身が輝いて」
・講　師　弁護士
福島（ふくしま）瑞穂（みずほ）氏

☆問合せ先
栃木県生活環境部同和対策課
☎028―623―3026

※入場は無料です。

て健康に！”　“みんな一緒に生きていく”

らはじめよう！健康と福祉

“おいしく　楽しく食べて健康に！”“みんな一緒に生きていく”をテーマに第12回壬生町健康ふくしまつりが10月19日、町保健福祉センターを会場に行われました。

会場には、朝早くから家族連れなど約4，000人が訪れ、『健康』と『福祉』に関する多彩な催しを終日楽しんでいました。

関心の高かった健康チェック　福祉体験コーナー

会場の同センター内では、骨密度検診、体脂肪測定をはじめ足のうら・皮膚の健康チェックコーナーや健康相談、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りの在宅相談、80歳疑似体験コーナーなどや救急蘇生法講座などが設けられ、健康チェックコーナーには終始長い列ができていました。

屋外では、リサイクル運動としてフリーマーケット、ペットボトルと古本の交換や災害時の緊急炊き出しの実演、ハンディキャップ体験として車いす・アイマスク等のコーナーなどが設けられたほか、特設ステージでは、日頃生きがい講座や自主講座等で学んできた手話、気功体操、ダンスの発表や壬生寺保育園による「円仁太鼓」なども行われ、訪れた人たちから盛んな拍手を受けていました。

また、総合公園時計台までの往復5、2㎞の健康ウォークにも大ぜいの人が参加、さわやかに晴れわたった秋空のもと、思い思いのペースでウォーキングを楽しんでいました。

なお、同会場において、健康・福祉標語の入賞者、保健事業・福祉功労者、町3歳児よい歯のコンクール入賞者、町国民健康保険健康増進奨励事業の表彰並びに町社会福祉協議会活動支援協力者への表彰も併せて行われました。

足のウラの形から健康度合いが測定でき、人気の高かった足のウラ健康チェックコーナー

健康ウォーク

歯みがき指導も行われたビーロボ　カブタックショー

ダンベル体操

肌の健康度合いをチェック

“おいしく楽しく食べ

第12回健康ふくしまつり

あなた自身か

大ぜいの人が健康と福祉の催しを楽しみました

健康・福祉標語入賞者表彰

（敬称略）

健康標語

小学校の部（6年生）

◇最優秀賞
「楽しく食べて
笑顔いっぱい　健康家族」
山口美保（羽生田小）

◇優秀賞　小林照典（藤井小）
鈴木理佐（睦小）、石村文乃（壬生東小）

◇佳　作　吉澤真祐美（安塚小）
榎本　大、赤羽根徹、松本真里子（以上壬生小）、粂川実有紀（壬生北小）、伊藤哲也（稲葉小）

中学校の部（1年生）

◇最優秀賞
「うれしいね
笑顔あふれる　健康家族」
片山かおり（壬生中）

◇優秀賞　早乙女優（南犬飼中）
白石拓磨（壬生中）

◇佳　作　東川伸一、籠谷直広、渡邊徹志、大栗妃土美（以上南犬飼中）、橋本　香、篠崎　梢、木野内恵美（以上壬生中）

一般の部

◇最優秀賞
「うす味に
なれて満足　生活習慣」
鹿ノ戸和夫（下表町）

◇優秀賞　中村ミイ（今井）
梁島久子（稲葉下馬木）

◇佳　作　鈴木正浩（安塚二）

福祉標語

小学校の部（6年生）

◇最優秀賞
「思いやる　心が福祉の第一歩」
大金亮平（安塚小）

◇優秀賞　増田圭吾（壬生小）
大森亮平（安塚小）

◇佳　作　青柳華佳、市川貴之（以上壬生小）、伴　智史、石川理加（以上壬生東小）、川瀬美幸（稲葉小）、臼井瑛憲（壬生北小）、飯田香織（安塚小）

中学校の部（1年生）

◇最優秀賞
「助け合う
心が結ぶ豊かな社会」
田中美希（壬生中）

◇優秀賞　片山ますみ（壬生中）
篠崎智子（南犬飼中）

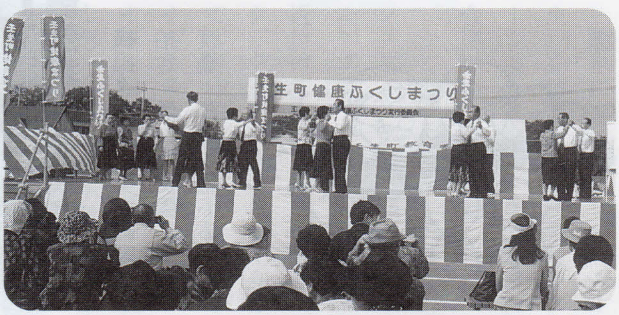
◇佳　作　角田知香、千本　勲、戸田真理子、矢口大直、鈴木麻希子（以上壬生小）、早乙女千尋、粂川雅丈（以上南犬飼中）

一般の部

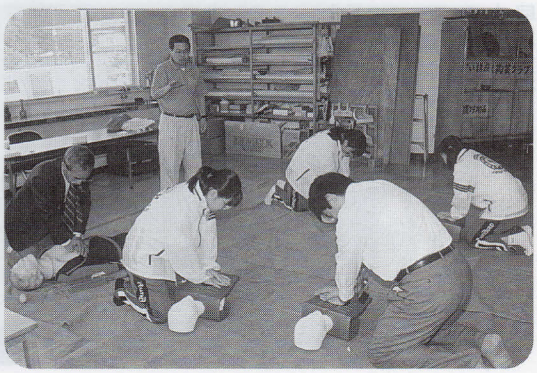
◇最優秀賞
「いたわりと
感謝の心で生まれる福祉」
鹿ノ戸和夫（下表町）

◇優秀賞　鹿ノ戸茂登子（下表町）
佐藤　翔（安塚二）

◇佳　作　大垣道子（落合）
鹿ノ戸順子（下表町）



手話やダンスなど各種講座の日頃の練習成果が特設ステージで披露されました。


いざ、という時のために（救急蘇生法講座）

アイマスク体験

車いす体験

ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りの在宅介護方法などについての相談コーナー

健康ふくしまつり受賞者

保健事業・福祉功労者表彰

町の保健事業並びに福祉推進のため、献身的活動を続けられ、その功績が顕著な個人及び団体が表彰を受けました。

受賞された方は、次の方々です。（敬称略）

保健事業功労者

《予防接種部門》
木村　繁喜（嘱託医師・上新町）

《健診部門》
木下　素子（嘱託医師・緑町三丁目）

《保健組織活動部門》
渡辺　清雄（国谷二）

《母子保健衛生部門》
木村　シズ（城　南）
大垣　栄子（安塚南部）

《廃棄物部門》
下横町自治会

福祉功労者

《援護功労者》
青木　ミヨ（城　南）
矢嶋喜美江（緑町二丁目）
松山　ミネ（東下台）

《施設職員》
野沢八重子（しもつけ荘）
岡部　春美（しもつけ荘）
須藤　祥子（しもつけ荘）

《感謝状》
・援護功労者
荒川　ヤイ（上新町）

健康ばんざい！

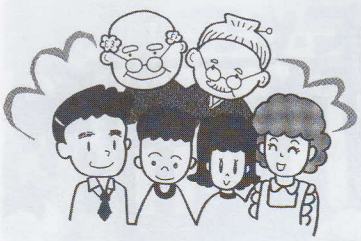
健康家族を表彰

家族全員が健康管理に努められ、国民健康保険による医療を平成4年4月1日から平成9年3月31日までの5年間、一度も受けることなく健康に過ごされた方々が、表彰を受けました。

これは、国民健康保険健康増進奨励事業の一環として表彰されたものです。

受賞された方は、次の方々です。（敬称略）

・横田タキ子（至宝町南）
・柏倉　信一（安塚二）
・渡邊　壽昭（北小林）
・浅見　歳重（東下台）



写真右から瓦井大暉くん・笑子さん親子、上田百合子ちゃん、早乙女みなみちゃん、越美知留ちゃん、早乙女裕理ちゃん

町社会福祉協議会 協力援助者を表彰

地域福祉の向上のため、数多くの活動を行っている壬生町社会福祉協議会に協力援助されてきた方々が表彰を受けました。

これは、壬生町社会福祉協議会高額寄付者表彰実施要綱（寄付金１件15万円以上又は寄付金累計額15万円以上に達した個人又は団体）に基づき、表彰されたものです。

受賞された方は、次の方々です。（敬称略）

◇栃木市遊技場組合
◇中山真理子・佐藤立樹ジョイントリサイタル実行委員会
◇パーラーアイドルお客様
◇壬生町老人クラブ連合会
◇㈲壬生衛生社
◇高久　カネ

3歳児よい歯のコンクール入賞者表彰

ぼくの、わたしの歯が一番！

町の歯科保健の向上を図るため、3歳児健診の受診者を対象に行われた「壬生町3歳児よい歯のコンクール」の入賞児・者が表彰を受けました。

審査は、3歳児よい歯の部と母と子の部の2部門で行われ、351名の中から、次の方々が選ばれました。（敬称略）

◎3歳児よい歯の部
最優秀賞　早乙女裕理（上通町）
優秀賞　大嶋隆之介（上　田）
優良賞　越　美知留（国谷本田）
〃　早乙女みなみ（駅東）
〃　上田百合子（安塚南部）

◎母と子の部
最優秀賞　瓦井大暉（中　泉）
笑子
優秀賞　村松進太朗（幸町三丁目）
英子

北関東自動車道
町内全工事区間に着工

群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市までの約150kmを結ぶ北関東自動車道の、都賀～上三川間の工事が着々と進んでいます。

本町を通る北関東自動車道の工事は、昨年8月の六美西工事着手を皮切りに随時工事が進められ、10月16日、国谷工事の安全祈願祭が行われたことで、町内の全7工事が着手となりました。

なお、工事にともない、資材搬送等の車両の増加、交通規制などご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

鎌入れの儀を行う福島助役

秋の叙勲

瓦井敦郎氏
勲六等単光旭日章を受ける

11月3日「文化の日」1997年秋の叙勲受章者が発表され、本町から瓦井敦郎氏（安塚南部）が社会福祉向上に尽くされた功績により、勲六等単光旭日章を受章されました。

勲六等単光旭日章

瓦井敦郎氏（58歳）
安塚1155番地9

瓦井氏は、昭和40年に茨城大学教育学部を卒業と同時に、社会福祉法人精神薄弱児施設せせらぎ学園に指導員として勤務され、平成9年3月に退職されるまでの32年間、園生の社会復帰に情熱を傾けてこられました。

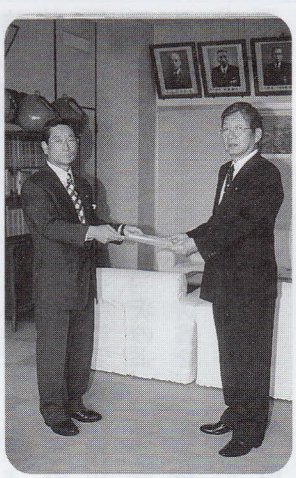
その間、昭和52年に同施設が成人施設への移行後も主任指導員として尽くされ、平成7年に園長補佐に就任後は、同施設と地域との交流にも尽力されました。これらの功績により、昭和52年に栃木県社会福祉協議会会長表彰、昭和56年には栃木県知事表彰を受けられています。

今振り返ってみると「楽しかったけれども、指導と人権を考えると、とても重い仕事だったと感じています」と、話してくださいました。

電話通信業関連で
町へ感謝状

電話通信事業への尽力により、NTT栃木支店（島崎謙二支店長）から、「電信電話記念日」の10月23日付で町へ感謝状が贈られることになり、庁舎を訪れた栃木営業所長の村上氏より、町長へ感謝状が手渡されました。

これは、電話・通信に関わる各種研修を行うなど、電話通信サービスの向上をはかる（財）日本電信電話ユーザー協会に、町が協力を続けてきたことに対し、「電信電話記念日」を記念して贈られたものです。



村上所長より感謝状を受ける清水町長

農政の展望と今後の政局について聞く

壬生町農政対策協議会（神長信雄会長）主催の農政講演会が10月9日、講師に栃木県農業会議会長の岩崎　実氏を招いて、壬生中央公民館で開かれました。

講演会には、農繁期にもかかわらず、大勢の農業関係者が参加、新食糧法後の米余り問題や減反、行政改革の問題などについて、栃木県県会議員でもある岩崎氏の「農政の展望と今後の政局」と題した講演に熱心に聞き入っていました。

平成９年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

県審査（第二次審査）で
神永淳美さん（稲葉小学校４年）ほか10名が入賞

明るい選挙の啓発運動の一助とするため、全国の児童・生徒を対象とした「第49回明るい選挙啓発ポスターコンクール」が行われました。

県内の小・中・高校生から総数３、３９９点の作品が寄せられ、第一次審査（市町村単位）を通過した７３６点が第二次審査（県）に出品されました。

本町においても２６３点にのぼる作品の応募があり、その中から優秀作品として、第二次審査推薦作品20点、下都賀郡町村選挙管理委員会連合会入選作品５点が選ばれました。

第二次審査の結果、本町では神永淳美さん（稲葉小学校４年）の作品が優秀賞に輝いたほか、６点が入選し、佳作に４点が選ばれ、全部で11点が賞に入るすばらしい成績を上げました。

審査の結果は、次の通りです。

第二次審査優秀作品

稲葉小学校４年
神永　淳美さん

☆第二次審査（県）

優秀賞　神永　淳美（稲葉小４年）
入　選　寺内　達也（壬生小１年）
〃　鈴木　雄喜（壬生小４年）
〃　鯉沼　孝彰（壬生小５年）
〃　熊倉　弘実（壬生中１年）
〃　安達　千尋（南犬飼中１年）
〃　根津　照美（壬生中２年）
佳　作　赤羽根寿幸（羽生田小５年）
〃　荒川　裕美（壬生小６年）
〃　斎須　良平（安塚小６年）
〃　芝田　江美（南犬飼中２年）

☆下都賀郡町村選挙管理委員会連合会

入　選　和久井　遥（壬生小１年）
〃　小野奈保子（壬生東小４年）
〃　小林　千恵（壬生東小６年）
〃　野口由香利（南犬飼中３年）
〃　大森あゆみ（南犬飼中３年）

☆第一次審査（町）

入　選　大垣あずさ（壬生小１年）
〃　松岡　優愛（壬生小２年）
〃　奥村　哲平（睦　小２年）
〃　粂川　敦（睦　小３年）
〃　落合　友香（羽生田小５年）
〃　池沢佳那子（壬生中１年）
〃　斉藤はるか（壬生中２年）
〃　大島　照美（壬生中３年）
〃　吉沢　藍（南犬飼中３年）

税の広場

サラリーマンの年末調整

サラリーマンの給与についての所得税は、毎月の給料やボーナスから源泉徴収されることになっています。

しかし、毎月源泉徴収された税額の合計額と、その年の給与総額に対する年税額とは、必ずしも一致しません。このため、その年の最後の給料やボーナスが支払われるときに、所得税の過不足額の精算が行われます。これを「年末調整」といいます。

大部分のサラリーマンにとって年末調整は、その年の税を精算する大切な手続きですから、次のような場合には、該当する申告書を忘れずに職場の担当者に提出してください。

①今年、結婚や出産、就職などにより、扶養親族に異動があった場合には「給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」

②控除を受けようとする所得者の合計所得金額が１，０００万円以下で、配偶者の合計所得金額が一定額以下の場合には「給与所得者の配偶者特別控除申告書」

③本人が直接国民年金などの社会保険料を支払った場合や生命保険料、住宅や家財を保険の目的とした損害保険料等を支払った場合には「保険料控除申告書」

④最初の年に確定申告して、住宅取得特別控除を受けた方で、２年目以降、年末調整でこの控除を受ける場合には「給与所得者の住宅取得等特別控除申告書」

なお、提出する際には「住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書」を一緒に添付してください。

≪確定申告をしなければならない場合≫

その年の給与の収入金額が２，０００万円を超える場合や給与所得及び退職所得以外の所得が20万円を超える場合、給与を２か所以上からもらっている場合などは、確定申告をしなければなりません。

申告書の書き方などで、お分かりにならない点等がありましたら、栃木税務署（☎22-0885）へお問い合わせください。

1400名の大イベント
老人クラブスポーツ大会

スプーンリレー競技

会場には大ぜいの人が訪れました

スポーツを通じて楽しい一日を過ごそうと、町老人クラブ連合会（高間信義会長）主催の第20回町老人クラブ連合会スポーツ大会が10月17日、町総合運動場で、老人クラブ会員1、400名あまりが参加して行われました。

いすの上で、座って風船を割る「けつあつ測定」や、おたまに乗せたピンポン玉を落ちないように運ぶ「スプーンリレー」などの競技が行われ、マイペースで競技をする人もいれば、一着を目指しての白熱したプレーもあり、個性あふれる戦いが繰り広げられました。

競技の合間には、持ち寄った漬物やお茶などを味わい、仲間とおしゃべりをしながら、ゆったりと観戦を楽しんでいました。

産業の祭典を楽しむ

町の商・工・農業が一同に集まった総合産業まつりが11月2日、総合運動場で開かれ、家族連れなどで賑わいました。

会場では、農産物の即売会や町の特産物“かんぴょう”を使ったかんぴょうそば・うどんなどを扱った出店など、各商店・各メーカーの出店が数多く並んだほか、秋刀魚やお米の無料配布会など、工夫をこらした催しが行われ、訪れた人たちを楽しませていました。

人気のあったかんぴょう入りそば・うどん

資料館コーナー

壬生の偉人・義人たち（七）

幕末の壬生藩主のち壬生藩知事
鳥居　忠宝（とりい　ただとみ）
1845年（弘化2年）～1885年（明治18年）

1857年（安政4年）忠宝が藩主となる頃には、壬生は幕末の動乱の渦に巻き込まれるようになりました。1862年（文久2年）江戸家老鳥居志摩が失脚し壬生勤皇派が藩政を握り、1864年（元治元年）水戸天狗党の乱には藩士からも参加する者も出ましたが天狗党の壊滅とともに勤皇派が失脚するなど、藩は分裂の状況となりました。1868年（慶応4年）戊辰戦争が下野に及んだ安塚の戦いでは、官軍と旧幕府軍に挟まれ去就に迷いますが、しだいに新政府方につくようになり明治維新を迎えます。

壬生藩知事のち貴族院議員
鳥居　忠文（とりい　ただふみ）
1847年（弘化4年）～1914年（大正3年）

忠文は剣術・馬術に通じ、維新の変には兄忠宝に代わり京都に上りました。また、文武館を建設し、文学・武術を奨励し、藩の財政を整理して、藩政を改革したことでも知られています。1870年（明治3年）9月、兄忠宝の後任として壬生藩知事に任命されましたが、翌年7月の廃藩で廃任となりました。

その後、明治維新の司法大輔を経て、ホノルル府領事館勤務となり、副領事、外務書記官、広軌道鉄道改築準備委員会から1911年（明治44年）7月貴族院議員となり、1914年（大正3年）10月まで務めました。この間、子爵になり、従三位に叙せられています。家柄の良さと人格者であることから常にエリートコースを歩み、同年に正三位勲三等旭日中綬賞を受けました。

鳥居忠文（左）と鳥居忱（右）

第6回 ゆうがおマラソンソフトボールinみぶ

試合の結果

町ソフトボール協会（塩澤　弘会長）主催の「第6回ゆうがおマラソンソフトボールinみぶ」が、町総合運動場で10月10日・11日の2日間にわたって行われ、48の参加チームが「ゆうがお」・「ひばり」の2チームに分かれて早朝から夜遅くまで熱戦が繰り広げられました。

開会式では、8月の全日本小学生女子ソフトボール大会に県代表として出場し、みごと準優勝の成績をおさめた壬生東クラブの選手たちの表彰が行われました。

開幕試合を戦う駅東町チーム・羽生田ウィングス代表による選手宣誓、来賓による始球式のあと、午前8時にプレイボール。

試合は、各チームが持ち時間の60分を戦いきり、順調に進んで行きました。2日目の午後2時からは、文星女子高校（元宇女商）ソフトボールチームの模範試合が行われ、高レベルの投打の応酬に、客席の注目が集まりました。

延べ25時間30分に及んだ試合は127回の裏を終了し、197対234でひばりチームが勝ちを収めました。

代表による選手宣誓

文星女子高校（元宇女商）の模範試合に見入る選手・観客

『地球環境は、あなたとわたしの足元から』

を、合言葉に住みよい地域と環境づくりのため、次のような活動をしています。

一人の力は小さくても、みんなの力を合わせれば大きな力となって、必ずゴミ減量・大気汚染防止に役立つと思います。

① 資源ゴミの回収分別を実行しましょう。
・牛乳パック
・アルミ缶
・ペットボトル

② 包装紙、牛乳パック等のアイデア利用を考えましょう。

③ 再生品を買いましょう。
・トイレットペーパー
・詰め替え品等

④ レジ袋を辞退しましょう。買い物には袋を持参しましょう。

⑤ 生ゴミの堆肥化を実践しましょう。

消費者だより

壬生町消費者友の会

壬生町消費者友の会では、年々増え続けるゴミを少しでも減らすことはできないだろうかと、ささやかな活動を展開しています。

皆さんもぜひ、ご協力ください。

資源ゴミ回収は

牛乳パックは平成3年、アルミ缶は平成4年、ペットボトルは平成6年から回収を始めました。

リサイクル小屋

リサイクル小屋は、現在安塚郵便局の北隣りに1か所あります。回収場所がもっと増えると大勢の人にリサイクルの大切さを理解してもらえるのではないでしょうか。

資源ごみの整理をする
友の会役員の皆さん

次回は、「包装紙・牛乳パックの利用と再生品を買いましょう」です。

ユニークなニュースポーツを体験

第7回　壬生町レクリエーション大会

ディスクゴルフを楽しむ参加者

簡単に遊べて楽しいニュースポーツを体験できる壬生町レクリエーション大会が、10月26日に町総合運動場で行われました。

かご型のゴールに円盤（フライングディスク）を投げ入れるディスクゴルフ、金属製の球を目標に近付けて投げ、得点を競うペタンク、ティーに置いたボールを打って、野球のようにプレーするティーボールなど5種類のニュースポーツをはじめ、さまざまな変わった形の自転車に乗れるコーナー、魚のつかみ取りなど、大人も子供も楽しめるイベントの数々に、グランドは、始終歓声にあふれていました。

やわらかいボールを使うソフトバレーボール

さまざまな形の自転車

パット感覚のグラウンドゴルフ

町民歩け歩け大会

早朝のゴルフコースを闊歩

健康増進、家族の交流を図る、第27回町民歩け歩け大会・ファミリーウォーキング大会が、10月10日の体育の日に行われました。

70歳以上のお年寄り22名を含む約100名の参加者は、町総合運動場を出発し、星の宮カントリー倶楽部コース内をまわって総合運動場に戻る3.8kmのコースを、約1時間かけてまわりました。

参加者は、朝もやの立ちこめるコースのさわやかな空気を感じながら、それぞれのペースでウォーキングを楽しんでいました。

下都賀郡身体障害者スポーツ大会

秋空のもとさわやかな汗を流す

10月3日、下都賀地区社会福祉協議会（清水英世会長）、下都賀郡身体障害者福祉会連合会（田中一男会長）主催の平成9年度下都賀郡身体障害者スポーツ大会が、国分寺町運動公園グランドで行われました。

大会には、下都賀郡8町から約400名の選手が参加し、さわやかな秋空のもとで車いす50m走やピン当て競技など、10種目の競技に心地よい汗を流しました。

ピン当て競技のようす

い広場

青春スケッチ 78

ひとりの時間を大切に

至宝町南　　堤　栄美（えみ）さん

「仕事が忙しいので、休みの日は、ひとりの時間を大切にしたいです。」という栄美さんは、ファーストフード店に勤務しています。

美術館めぐりなどが好きで、「いつか自分で作ってみたい」という焼き物の個展にもよく足を運びます。そのほか、読書、公園散策など落ち着いた趣味が多い栄美さんですが、遊園地では、ジェットコースターなどの「絶叫マシーン」に真っ先に乗るという、活発な一面も併せ持っています。

お達者カップル 106

至宝町南
梅山　作　蔵さん（７７）
シゲオさん（７３）夫妻

「朝5時半に起きて、1時間かけて二人で犬の散歩をしています。」という、元気で仲のよい梅山作蔵さん・シゲオさんご夫妻。昭和12年に、姿村（現在の石橋町）の尋常高等小学校を卒業した

私の作品

「合奏」
羽生田小学校４年
奈　良　慎太郎

「虫たちの演奏」
羽生田小学校６年
赤羽根　良　美

ふれあ

今年で10年目 壬生高等学校 通学路清掃

通学路を清掃する壬生高生

県立壬生高等学校（田島一利校長）で、放課後、定期的に行われている通学路清掃が、今年で10年目を迎えました。

昭和63年に、JRC部（青少年赤十字）の生徒が月2回、校門周辺の空缶・ゴミ拾いを始めたのがきっかけとなり、現在では整美委員、クラス割当や有志も参加して、毎月行われるようになりました。

校門から壬生駅までの約1.5kmの道のりを、袋を持って空缶やゴミを拾って歩き、リヤカーに乗せて学校に持ち帰った後、缶・ビンなどに分別します。

集めたゴミは、毎回、リヤカー4～5台分の量になり、回収・分別作業にもひと苦労です。

生徒たちからは「きれいになった道路を見るのは気持ちがいい」、「思った以上にゴミが落ちていておどろいた」という感想が多く聞かれ、学校では「通学路清掃の体験をつうじて〝道路に物を捨てない〟ということを、ひとりひとりが守ってくれるようになれば」と話しています。

作蔵さんは、昭和14年に満州（現在の中国東北部）に渡り、兵役につきました。

一方、家中村（現在の都賀町）の尋常高等小学校を卒業したシゲオさんは、昭和13年、15歳の時に叔父と共に満州へ渡りました。

そこで縁あって、二人は昭和20年2月に現地で結婚しましたが、8月のソ連参戦、第2次大戦の終戦により、作蔵さんはハバロフスクの収容所に抑留され、帰国したのは昭和21年のことでした。

帰国後、作蔵さんは東武鉄道に入社、31年にわたり運転士を務めてきました。

現在、老人クラブの会長を努めている作蔵さんの趣味は囲碁と将棋で、日曜日の早朝の対局番組は欠かさず見ています。そのため、日曜日だけはシゲオさんが一人で犬の散歩をしているそうです。

シゲオさんの主な趣味は洋裁、書道、墨絵で、書道は師範の腕前です。そのほかに太極拳、コーラスを習っています。

「人生は、おもしろおかしく」（作蔵さん）、「友だちが、何よりの財産」（シゲオさん）と言うとおり、いつも明るく、笑顔の絶えないお二人です。

チビッ子アルバム

優花（ゆうか）ちゃん（4歳・右）・弘夢（ひろむ）ちゃん（2歳）
（父）伊藤　宗　弘さん（城　南）
（母）〃　由美子さん

お母さんから一言

ずっと、仲良しでいてね。

栞名（かんな）ちゃん（4歳・左）・新名（にいな）ちゃん（1歳）
（父）高山　仁　さん（落　合）
（母）〃　由加里さん

お母さんからの一言

姉妹いつも仲よく助け合い
思いやりのある優しい子になってね。

「チビッ子アルバム」コーナーのお子さんを募集しています。ご希望の方は、お子さんの写真と簡単なメッセージを添えて、町総務部企画財政課広報広聴係（☎82－1234　内線212）までお送りください。

高齢者交通安全のつどい

楽しみながら交通安全を学ぶ

壬生町女性ドライバークラブ（人見イハ会長）主催の第４回高齢者交通安全のつどいが10月２日、嘉陽が丘ふれあい広場において、町内老人クラブの皆さん約１５０人が参加して行われました。

つどいでは、最近の高齢者の交通事故死者増加を受けて、栃木警察署加藤交通係長から高齢者の交通事故防止対策として「夜間でも目立つ明るい服装」「横断などでは、意思表示を明確に行う」などの講話を受けました。

講話の後、女性ドライバークラブ員さんの指導による交通安全に関するクイズやゲーム・歌などが行われ、楽しみながら交通安全について学びました。

交通講話を聞く参加者

ゲームを楽しみながら交通安全を学ぶ

ナイターサッカー大会

ISOSANチームが初優勝

優勝のＩＳＯＳＡＮ

第13回壬生町ナイターサッカー大会が町総合運動場を会場に10月１日から７日まで、町内外から11チームが参加し、熱戦が展開されました。

大会成績

優　勝　ＩＳＯＳＡＮ
準優勝　ＦＣ46壬生
三　位　トライアンフＦＣ

得点王
・山本卓史(ＦＣ46壬生)
・毛塚達也（トライアンフＦＣ）
・茅島秀和（トライアンフＦＣ）

栃木地区地域安全大会

防犯功労者・団体など11名が表彰を受ける

10月16日、栃木市文化会館において、栃木地区防犯協会・栃木警察署主催の第16回栃木地区地域安全大会が開かれ、席上、防犯活動などに功労のあった、次の方々が表彰を受けました。

【表彰受賞者】（敬称略）

◎防犯功労者

安納　芳次（稲葉地区防犯組合）
宮詰　庫雄（壬生地区防犯組合）
潮田　悦穂（南犬飼地区防犯組合）
石田　利雄（おもちゃのまち防犯組合）
橋本木三郎（壬生地区防犯組合）

◎防犯ポスター入選者

《小学生の部》
銀賞　篠原あゆみ（羽生田小５年）
銅賞　小林　千恵（壬生東小６年）
佳作　古谷津有希（壬生東小６年）

《中学生の部》
佳作　荒川　真一（壬生中３年）
〃　青木　順子（壬生中３年）
〃　佐藤　陽子（壬生中３年）

みんなでつくろう安心の街

ゲートボールを楽しみ 防犯意識の高揚を図る

10月８日、町総合安全会、町防犯組合連絡協議会、栃木警察署共催の第４回壬生町地域安全ゲートボール大会が町ゲートボール協会（渡部和平会長）の協力を得て、町総合運動場で行われました。

これは、お年寄りから地域の防犯や事故防止などについて、家庭に働きかけてもらおうと行われているものです。

片山課長の話を熱心に聞く参加者

ゲームの合間を利用して、栃木警察署の片山生活安全課長から身近な犯罪の防止として、乗り物盗の防止や戸締まりの確認、また、旧軍用銃の差し出し協力などの話があり、楽しみながら防犯についての心構えを学びました。

青少年健全育成剣道錬成大会

日ごろの鍛錬の成果を競う

壬生町少年剣道教室育成会（細井玲子会長）主催の第27回青少年健全育成少年剣道錬成大会が10月19日、町内の剣道教室をはじめ、石橋、小山などの近隣市町の剣道教室から小・中学生約３００名が参加して、壬生中学校体育館で行われました。

大会は、男女個人戦7種目、混合団体戦2種目が行われ、いずれの試合も日ごろの鍛練の成果を十分に発揮したすばらしい試合が展開されました。

成　績

個人戦

【男　子】

◇小学3年生以下
優　勝　生沼　直（養心館）
準優勝　石塚　遼（壬生剣）

◇小学4年生
優　勝　豊田　貴嗣（壬生剣）
準優勝　石塚　真士（壬生剣）

◇小学5年生
優　勝　大栗　雅規（壬生剣）
準優勝　生沼　学（養心館）

◇小学6年生
優　勝　阿南　隼人（石橋剣）
準優勝　舘野　祐介（石橋剣）

◇中学生
優　勝　浅利　圭介（南犬飼中）
準優勝　金田　孝一（壬生中）

【女　子】

◇小学4年生以下
優　勝　菊池　美姫（壬生剣）
準優勝　内木　悦子（養心館）

◇小学5・6年生
優　勝　舟生　夏季（石橋剣）
準優勝　伊沢　未緒（石橋剣）

◇中学生
優　勝　小黒　絵里（壬生中）
準優勝　平田　朋子（南犬飼中）

混合団体戦

◇小学生
優　勝　小山武道館剣心会
準優勝　壬生町少年剣道教室

◇中学生
優　勝　南犬飼中学校
準優勝　壬生中学校

テープカットをする高久尚子さん（中央）清水町長（右）・篠原教育長（左）

空木の代表作一堂に

下稲葉に生まれ、１９９３年に亡くなるまで国内染色界の第一人者として活躍した高久空木の回顧展が10月18日から11月23日まで町歴史民俗資料館で開かれました。

この回顧展に先立ち10月17日、空木の養女で染色家の高久尚子さん、青木宏県立美術館学芸課長、清水町長などが出席し、オープニングセレモニーが行われ、尚子さんは「父が生きていたら、どれほど喜んだことか。多くの皆さんに父の作品を見てほしい」と、あいさつされました。

回顧展は、初期から最晩年に至る代表作１０６点の作品が展示され、連日町内外を問わず多くの方が訪れ、空木の染色の美に酔いしれていました。

プリモチームが連覇

町家庭婦人バレーボール協会（渡辺清雄会長）主催の第24回町長杯家庭婦人バレーボール大会が９月７日、町内の精鋭５チームが参加し町総合運動場体育館で行われ、白熱した試合が展開されました。

成　績

優　勝　PRIMOチーム
準優勝　九輪チーム

芸文　文化協会文芸部選

短　歌

暮れてなおエンジンの音響けるは
倒伏の稲刈り終るらし
角田　節子

母と子が揃いの服着て手をつなぎ
行くのを暫し見とれていたり
奥村　トシ

子供らはそれぞれ巣立ち又もとの
二人の夕餉となりてしまえり
黒尾　チエ

救急車とおくに聞こゆる朝まだき
交通事故か急病人か
曽篠登志子

俳　句

ゴンドラの腹の擦りゆく花芒
宇井　秋汀

天高しボランティアの茶髪の子
佐藤　淑子

芒野やそぞろ歩けば人も狐狸
高橋　田鶴

地下街の花店すすき輝きて
鈴木佳世子

おもちゃ博物館

夢をつないで45万人

「大人の郷愁と子どもの夢のかけ橋」おもちゃ博物館の延べ入館者が、大勢の来場者でにぎわう「おもちゃフェスティバル」期間中の11月3日に、45万人を突破しました。

45万人目となったのは、群馬県大泉町の岡田真穂ちゃん（8歳）で、清水英世町長から大きな熊の縫いぐるみなどがプレゼントされ、お父さんといっしょに『祝・入館45万人』のくす玉を割りました。

岡田さん親子と清水町長（右）

おもちゃ博物館からのお知らせ

収蔵品展「わんわん大行進」

・**期間**　平成9年12月7日～平成10年1月18日

・**会場**　2階企画展示室

・**内容**　博物館収蔵品の中から犬のおもちゃを一同に集めて展示します。

戦争で亡くなられた軍人軍属等のご遺族の皆さまへ

平成７年の法律改正で新たに支給されることになった「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」の受付が、平成10年３月31日で終了します。

《対象となる方》

満州事変以後公務上死亡された戦没者等のご遺族で平成７年４月１日において公務扶助料、遺族年金等を受ける方がいない場合に、次のご遺族のうちの先順位者に特別弔慰金を支給します。

①平成７年４月１日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金を受給した方。

②戦没者等の子。

③戦没者と生計を共にしていた父母、孫、祖父母、兄弟姉妹

（平成７年４月１日において婚姻により姓が変わっている方又は遺族外の人と養子縁組をしている方を除きます。）

④上記③以外の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹

⑤上記①から④以外の三親等内の親族

（戦没者等の死亡まで引き続いて１年以上生計を共にしていた方に限ります。）

詳細については、町民生部福祉課（☎82－１２３４内線１２６）へお問い合わせください。

寄付

（社会福祉協議会）

（○数字は寄付回数）

金１万円⑩　（株）県南環境様

金５千円①　吉田　緑様

金３千２５１円③　日本赤十字社壬生町分区奉仕団様

金１万円⑦　壬生町婦人会様

金１万円⑧　日光彫壬彫会様

金１万２千４００円⑨　壬生地区配食サービスグループ様

金１万円⑨　南犬飼地区配食サービスグループ様

金１万円⑤　ボランティアグループユウカリ様

金１万円⑩　壬生町陶芸クラブ様

金１万円①　匿名様

金５千円⑪　壬生町消費者友の会様

金５千円③　シルバー人材センター刃物研ぎ一同様

金２万４千６３０円⑧　壬生町民生委員協議会様

金１万円②　（株）新優本店様

金３千円⑩　壬生町ひまわり会様

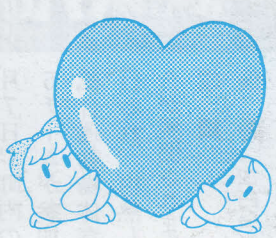
金５００円⑦　壬生町心身障害児者親の会様

金１万円⑦　墨絵クラブ様

金５万円⑭　伏木　美佐恵様

地域でささえあうあったかいお正月

歳末たすけあい運動　12月１～31日



まちのうごき

11月１日現在

総人口	40,135人	（△９）
男	19,766人	（△７）
女	20,369人	（△２）
世帯数	12,706世帯	（14）

（　）内は前月比

12月の納税等

●固定資産税（３期）

●都市計画税（３期）

●国民健康保険税（６期）（納期限12月25日）

●国民年金（12月分）（納期限12月26日）

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。